

## 輝く個性と地域の力 交流で未来を拓く信州佐久<sup>ひら</sup>

### 地域の特性

佐久地域は、浅間山・ハケ岳連峰の裾野、千曲川水系の最上流に位置し、4つの国立・国定公園に囲まれた自然環境豊かな高原地域です。

地域の北部は、長野新幹線、上信越自動車道の高速交通網を中心に、長野県の東の玄関口「東京が一番近い信州」として、首都圏等との交流が盛んであり、近年では特に新幹線駅周辺において、首都圏への通勤可能エリアとして移住者が増加するなど、都市化や新たな商業圏の形成も進んでいます。

南部は、豊かな森林や水資源を活かした農林業が営まれており、冷涼な気候を活かした全国有数の高原野菜の産地を形成し、近年都会に暮らす人々に注目されつつある「スローライフ<sup>\*</sup>」の実現にも適した地域となっています。

また、佐久地域での大型インフラ整備として、地域と太平洋圏を繋ぐ将来の交通の大動脈となる中部横断自動車道佐久南I.C～八千穂I.C（仮称）間の整備が進められています。

環境に配慮した自然との共生社会がクローズアップされる中で、佐久地域の晴天率が高く日照時間が長い気象条件と、豊富な森林・水資源は、太陽光や小水力発電などの自然エネルギー利用に大きな可能性を有しており、地域内では先駆的な取組も始まっています。

さらに、佐久地域は住民による地域に根ざした保健予防活動が盛んであり、健康長寿への関心が高く、佐久総合病院をはじめとする地域医療機関も充実した地域となっています。



千曲川源流

### 地域の課題

高速交通網の整備効果等により交流人口が増加し、都市化や新たな商業圏の形成が見られる地域がある一方で、中山間地域では、進行する少子高齢化等により過疎化が進み集落機能の低下が懸念されています。

また総じて、地域経済活動での製造業の低迷、新たな商業圏形成の影響による中心市街地の空洞化と既存商店街の衰退、農林業での後継者・担い手不足などの課題を抱えており、地域全体の活力の低下も懸念されています。

地域の活力を向上させるためには、中部横断自動車道の整備や北陸新幹線の金沢延伸の機会を捉え、地域での人や物の交流の一層の拡大を図り、それにより生み出される様々な効果を地域全体に波及させていくことが必要です。

それとともに、地域が持つ特徴や豊富な資源を有効に活用しながら、地域に暮らす人々の知恵によって持続可能な社会を構築し、活気のある佐久地域を豊かな自然環境と共に後世へ引き継いでいくことも求められています。

また、全国有数の野菜産地として発展してきた佐久地域の農業を誇りとし、これからの地域づくりに欠かせない重要な産業として一層発展させていくことが重要です。

さらに、人口減少社会が到来した中で、地域の活力を維持していくために、増加する高齢者や、障害者を地域ぐるみで支え合う、また安心して子育てができる社会環境づくりが求められているほか、国内でも有数の活火山である浅間山を抱えているため、大規模噴火に対する防災対策を推進するなど、暮らしの安心・安全を確保していく必要があります。

## 地域プロジェクト

### ① 「つながり」と「交流」の創出による活力ある地域・人づくりプロジェクト

#### ● 道路ネットワークの整備推進等による「つながり」の構築

佐久地域を首都圏、日本海圏、太平洋圏を結ぶ交通の要所とするとともに、南北に長く異なった特徴を持つ地域内を短時間で結ぶなど、県外はもちろん、佐久地域内や県内東西地域間相互の「人」や「物」の流れを活発化する「つながり」を創出するため、基盤となる中部横断自動車道の早期整備を促進するとともに、アクセス道路等地域内外を繋ぐ道路網の整備を推進します。

合わせて、北陸新幹線の金沢延伸の機会を捉え、JR小海線やしなの鉄道の利用促進など、活性化への取組を市町村等と連携して推進します。

#### ● 「交流」を核とする賑わいと活力ある地域づくり

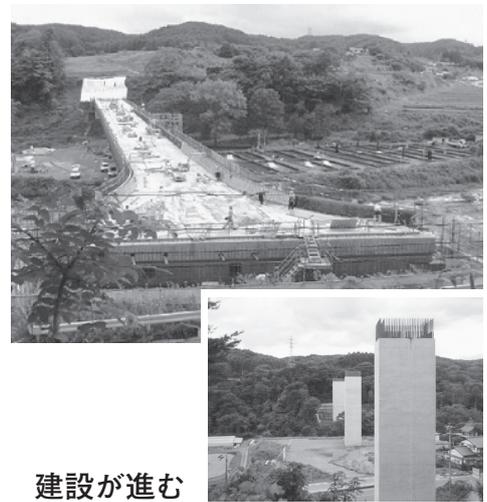
佐久地域の持つ特徴や豊富な資源を「魅力」として磨き上げ、「佐久らしさ」を創り出すとともに、様々な手法で地域外へ発信していくことで、観光誘客や都市農村交流、移住などを促進し、活発な「交流」による地域の賑わい創出と地域産業の活性化に取り組みます。

#### ● 地域の未来を担う「人」づくり

住民が取り組む地域づくりの活動を支援し、活性化することで、自らそのすばらしさを再認識し、愛着と誇りを持って地域を支えていくことができる「人」を育成します。

## 達成目標

指標名	現状	目標 (平成29年度)
観光地利用者数	1,413万人 (H23年)	1,520万人 (H29年)
都市農村交流人口	52,517人 (H23年度)	57,000人



建設が進む  
中部横断自動車道

### ② 自然と共生する「サスティナブル\*・エコロジーエリア」形成プロジェクト

#### ● 未来につなぐ豊かな自然環境・資源の保全

カラマツを中心とする豊かな森林や、森林を源とする豊富で良質な水など、地域のすばらしい自然環境を後世に引き継いでいくため、計画的な森林整備や拡大が懸念される野生鳥獣被害の対策を推進するとともに、地下水等の水資源の保全に取り組みます。

#### ● 恵まれた資源を活かした自然エネルギーの普及促進

佐久地域の冷涼で日照時間が長いという気象条件や、豊かな森林、豊富な水資源は、太陽光発電や小水力発電、木質バイオマスなど自然エネルギーの創出に大きな可能性を持った

め、官民協働による自然エネルギー利活用研究や普及促進の取組を推進します。

● **環境負荷の少ない未来まで持続可能な循環型社会の構築**

二酸化炭素吸収源としての森林づくりや、市町村等と連携した廃棄物の減量化、リサイクルの推進などにより、地域全体で環境に負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。



太陽光発電施設

**達成目標**

指標名	現状	目標 (平成29年度)
新規自然エネルギー事業数	—	10事業
民有林の間伐面積	2,753ha (H23年度)	12,900ha (H25~29年度累計)

③ **「世界品質の農畜産物総合供給基地」構築プロジェクト**

● **競争力の高い農畜産物の生産振興・販売体制の強化**

浅間山麓、八ヶ岳山麓の冷涼な気候を活かして生産されている高原野菜を中心に、多様化する消費者ニーズを捉えた新たな品種・品目の導入等を推進し、他産地との差別化、高付加価値化を進めることにより、農畜産物の総合供給基地の確立をめざします。

合わせて、全国屈指の野菜産地でもある佐久農業の「誇り」を地域全体で共有し、海外にも目を向けた販路の開拓などによりブランド化を進め、全国に情報発信します。

● **意欲ある農業経営体の確保・育成**

農業従事者の高齢化や減少を踏まえ、持続的な農業の発展を支えていくため、地域に必要な多様な担い手の確保・育成支援に関係機関と連携して取り組みます。

● **基幹的畑地かんがい施設の計画的整備**

安定的な農業生産を支える基盤として、未整備地域での畑地かんがい施設の整備を進めます。



高原野菜畑

**達成目標**

指標名	現状	目標 (平成29年度)
農産物産出額	527億円 (H22年度)	540億円
基幹的畑地かんがい施設の整備面積	1,068ha (H23年度)	1,500ha

④ **誰もがいきいきと安心して暮らす「健康長寿」の地域づくりプロジェクト**

● **住民が皆で支え合う住みやすい地域づくり**

進行する少子高齢化社会の中で、地域ぐるみで高齢者や障害者を支え合い、安心して子どもを産み、育てることのできる社会環境をめざし、地域包括ケアの推進等によるサービス提供や相談支援体制を充実・強化するとともに、福祉施設等の整備に対する支援、様々な保育ニーズに対応できる子育て支援に取り組みます。

● **皆が健康で長生きできる暮らしの実現**

住民による地域に根ざした保健予防活動を持続させ、食育や生涯スポーツを通じた住民の

健康増進意識を醸成するなど、生活習慣病対策を推進します。

### ● 地域医療の充実による安心の提供

佐久総合病院をはじめとする地域内の充実した医療機関による、地域医療連携パス\*構築の支援や、医療従事者確保対策を推進し、住民が安心できる医療提供体制の確立を進めます。

#### 達成目標

指標名	現状	目標 (平成29年度)
食育ボランティア数	4,584人 (H23年度)	4,800人
人口10万人当たり医療施設従事医師数	210.1人 (H22年)	230.0人 (H29年)



ポールを使ったウォーキング

## ⑤ 災害に強い「安全と絆」の地域づくりプロジェクト

### ● 安全な暮らしを築く防災・減災対策の推進

現在も活動を続ける浅間山の大规模噴火を想定した総合的な火山防災対策を、国・関係市町村と連携して進めるとともに、近年顕著となっている局地的な豪雨による洪水、土砂災害や、大规模地震に備えた対策を、防災施設の整備と危険箇所の周知など、ハード・ソフト両面から一体的に推進します。

### ● 住民の「絆」が支える災害に負けない地域づくり

自らの身は自らで守る「自助」と、地域住民による相互扶助の「共助」の取組を推進するとともに、消防団活動等を支援することにより、地域防災力の向上、地域コミュニティ＝「絆」の維持と復活に取り組みます。

#### 達成目標

指標名	現状	目標 (平成29年度)
土砂災害警戒区域等指定率	74.0% (H23年度)	100%
自主防災組織の組織率	71.0% (H23年度)	90.0%



浅間山

整備された砂防施設